

# 広がる田んぼダムの事業と制度！！



写真1：スマート田んぼダム 自動排水栓



写真2：田んぼダムセミナー

**昨年度の取組**

ほ場整備事業実施地区において、実証田の設置や国事業を活用したデータの収集・解析を行い、田んぼダムの有効性を検証しました（写真1）。

検証結果として田んぼダム実施ほ場では、降雨時に排水量のピーク流量が減少するなど、一定の効果が確認できました。

また、3月には「田んぼダムセミナー」を開催し、専門家である、新潟大学の吉川教授による講話や実証地区の取組事例の紹介など行いました（写真2）。

多くの方が参加し、田んぼダムについての知識や有効性などを発信し、普及啓発を図りました。

# 田んぼダム通信

【第5号】

発行所  
秋田県農林水産部  
農地整備課  
水利整備・防災班  
TEL：018-860-1830  
農地整備班  
TEL：018-860-1824  
農山村振興課  
地域環境保全班  
TEL：018-860-1853

## 田んぼダム取組への支援制度！

### 【農地耕作条件改善事業】

今年度から国の農地耕作条件改善事業に「水田貯留機能向上型」が新設されました。このメニューにより、田んぼダム実施に向けたほ場の簡易な整備を行えるようになりました。具体的な内容は畦畔の補強や排水柵の設置、調整板の購入への助成や調査・調整への支援などです。

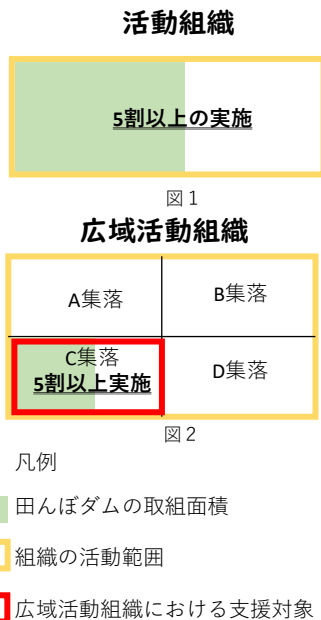
要件等は次の表の通りです。

補助額			
調査 調整 事業	経費を定額支援 (300万円/年)		
整備 事業	畦畔補強 (14.0万円 /100m)	排水柵 (4.5万円 /箇所)	排水路 (14.5万円 /10m)
要件			
<ul style="list-style-type: none"> <li>流域治水プロジェクト、治水協定等防災に係る取組が策定されている地域</li> <li>地区内の<b>5割以上の面積</b>で田んぼダムを実施</li> <li>水田貯留機能向上計画の策定</li> <li>1地区あたりの事業費の合計が200万円かつ受益者数が農業者2名以上</li> </ul>			

(注1)整備事業の補助額は請負施工の単価です  
ただし、農業者施工を含むことが必須となります  
(注2)農地耕作条件改善事業は**農地中間管理機構**との連携が必須です

**今年度の取組について**

引き続き、スマート田んぼダム、従来型田んぼダムの実証を継続し、効果検証やデータの比較等を行うとともに、取組農家や地域の皆様の声を幅広く情報発信する予定です。



**【多面的機能支払交付金】**

令和3年度から資源向上支払（共同）が拡充され、田んぼダムを推進する活動への支援が受けられるようになりました。

支援内容と要件は次の通りです。

**支援内容**

- 10アールあたり3000円の単価を加算（新規組織の場合は10アールあたり4000円の単価を加算）

**要件**

- 水田貯留機能計画の策定
- 資源向上支払の対象田面積で、田んぼダムを5割以上取り組むこと（図1）
- 広域活動組織にあっては、加算措置に取り組む集落毎に、田面積で5割以上が取り組むこと（図2）